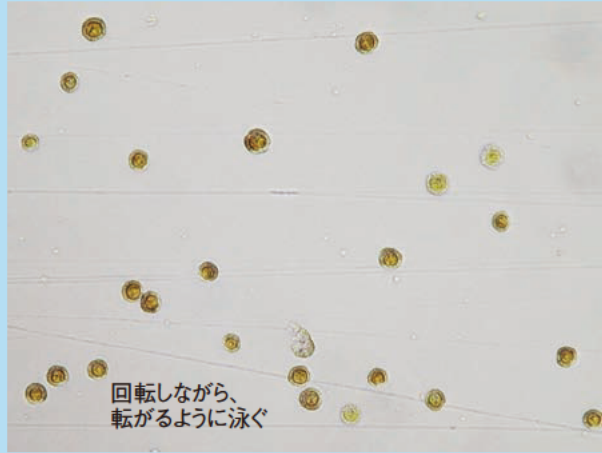


カリプトロスファエラ属 未同定種(ハプト藻)

(*Calyptrosphaera* sp.)

動画



鞭毛(2本)



円石(円柱形)



円石(横から見ると長方形)



円石(横から見るとドーナツ形)

大きさ 直径10~15 μ m

形態 色は薄い黄褐色。細胞は球形で、細胞の表面は炭酸カルシウムでできた円石(えんせき)でおおわれている。円石は、横から見ると長方形、上から見るとドーナツ形で、中心がぬけた円筒形に見えるが、実際は表面が蓋をされていて、コップを逆さまにしたような形状をしていると考えられる。細胞内には、黄褐色の葉緑体が2個程度観察される。ほぼ同じ長さの鞭毛を2本もつ。2本の鞭毛の間にはハプトネマと呼ばれる糸状の小器官があるが、光学顕微鏡では観察しづらい。

動き 回転しながら転がるように泳ぐ。

漁業への影響：魚介類への影響は不明。ただし、同じカリプトロスファエラ属の一種では、赤潮に伴って養殖魚の稚魚がへい死した事例が報告されているので注意が必要である。

漁業被害：平成13年8月に引本湾で、平成17年9~10月に五ヶ所湾で赤潮が発生したが、漁業被害はなかった。

発生海域：熊野灘沿岸

発生時期：8~10月頃